

和歌山県青少年 錬成大会に421名

平成27年度和歌山県(和歌山市)地方青少年合気道錬成大会は、6月13、14日に和歌山県立武道館にて行なわれた。和歌山県下から小学生307名、中学生84名、高校生30名、合わせて421名が参加をした。

一日目は増尾登和歌山県合気道連盟事務局長による開会の言葉の後、国歌斉唱、来賓挨拶と続き、金澤威本部道場師範による大会講師挨拶をいただいた。その後、竹中日出雄大会副会長から錬成上の注意があり、その後参加者を代表して有田道場の帽子太将君が元気良く誓いの言葉を発声し錬成が開始された。梅雨の曇り空のもと、熱気こもる館内でしたが、窓という窓を全開にして、金澤師範は前受け身や後受け身、膝行などの



大勢が真剣に取り組んだ

基本的な動作の後、交差取りや片手取りによる一教・二教、正面打ち小手返し入身投げ・小手返し、四方投げなど基本技の稽古を行なう。和歌山県下から小学生307名、中学生84名、高校生30名、合わせて421名が参加をした。一日目は増尾登和歌山県合気道連盟事務局長による開会の言葉の後、国歌斉唱、来賓挨拶と続き、金澤威本部道場師範による大会講師挨拶をいただいた。その後、竹中日出雄大会副会長から錬成上の注意があり、その後参加者を代表して有田道場の帽子太将君が元気良く誓いの言葉を発声し錬成が開始された。梅雨の曇り空のもと、熱気こもる館内でしたが、窓という窓を全開にして、金澤師範は前受け身や後受け身、膝行などの

の暑さを吹き飛ばす活気溢れる稽古が行われた。また、午後には演武会が行われた。参加した子供たちは日頃の成果を發揮し元気いっぱい演武を披露した。演武会の締め括りとして金澤師範による総合演武が行われた。錬成終了に際し、竹豊館道場の軒端真歩さんからお礼の言葉に引き続いて、各道場の代表者に金澤師範から錬成証が授与されたのち、続いて有田道場の帽子太将君ほか12名の子供達に努力賞が授与され、楠見勝大会実行委員の閉会の言葉で無事終了した。



両日を通して、中心に力を集めることの大事さや一教など相手の肘を制する

山形県演武大会に110名



植芝本部道場長の演武

第46回山形県合気道演武大会(新庄道場創設45周年記念)・講習会は6月13、14の両日、新庄市武道館にて、植芝充央本部道場長をお招きして開催された。

13日は演武大会が行われ、山形県内の8道場、カルチャースクール4つ、大学1校、高校1校から合計約110名が参加した。開会式に先立ち、まず船越光雄山形県連盟会長が挨拶を行った。続いて植芝本部道場長が「亡くなられた白田林次郎師範がこの山形県に合気道の種をまき、現在に至っております。先人たちがやってくれたことを守りながら、良い形で未来につないでいくことが我々の役目だと私は思っております。ぜひこれからもっと普及し、熱心な演武をしていただき、とて刺激になります」と述べた。

演武会では少年少女、高校生、大学生、各道場の道場長による演武、また県連盟会長の船越師範による演武が行われ、最後に植芝本部道場長による総合演武で締められた。演武会終了後は市内のホテル内会場に場所を移して祝賀会が行われ約40名が集まった。祝賀会に際して船越会長は「本日は植芝本部道場長の生き生きとした熱心な演武をしていただき、とて刺激になります」と述べた。



碓山師範による指導

14日は午前9時半から植芝本部道場長による2時間の講習会が行われ、約60名の参加があった。植芝本部道場長は入り身、転換の基本動作のみに着目し、技が繋がっていることを意識して稽古することを強調して指導を行った。講習会には山形大学や山形南高校の学生も参加し、参加者と共に元気に汗を流した。

埼玉大50周年の祝賀会

埼玉大学合気道部は1966年今村樹憲氏らによって設立されて以来、本年50周年を迎えることが出来た。その1つの区切りである50周年を祝う為、5月30日にホテルニューオータニ二・芙蓉の間にて正午より記念祝賀会を開催致しました。

埼玉大学学長山口宏樹氏をはじめ、植芝守央合気道道主、埼玉大学合気道部の萩原昌好永世名誉顧問、小林保雄名誉師範および歴代顧問、師範の方々、創部者の今村氏や歴代OG、OBの計203名の出席者をもって開催されました。

先ず司会者から開会宣言があり、続いて長谷川顧問のあいさつ、そして来賓を代表して山口学長、植芝道主、小林顧問が祝辞を頂き、50周年の積み重ねを象徴するかの様にシャンパンタワーに乾杯のシャンパンを注ぎ、合気道部監督大関正美氏の音頭による乾杯を行いました。

それから会食に移り和気萬々飲んだり食べたり踊ったり、話も弾み一刻を過ぎたり、その間各方面の方々の祝辞をいただきました。また、永年の功労に感謝し記念品の授与を行い、1期OBである石垣晴夫氏、今村樹憲氏からお言葉を頂き、更なる飛躍を祈願し鏡開きを行いました。そして、最後にOB会会長の佐藤嘉信氏の音頭で手締めを行い、祝賀会もお開きとなり、無事埼玉大学合気道部創部50周年祝賀会を終えることが出来ました。

最後にご多忙の中祝賀会に出席頂きましたご来賓の方々、OB・OGの方々に、祝賀会開催の為に協力して頂いた方々にこの紙上をお借りして御礼申し上げます。(50周年記念行事 運営委員長 寺元豊)

香川県地域社会指導者研修会

平成27年度香川県(高松市)地域社会合気道指導者研修会は、6月13、14の両日、香川県立武道館で実施されました。中央講師として碓山博(公財)合気会本部師範と櫻田田司取手合気会指導員にお越し頂き、香川県合気道連盟会員を中心としておよそ70名が参加し、充実した研修会を実施することが出来ました。

この研修会では全日程を碓山師範による指導

北海道連が 春季講習会

平成27年度北海道合気道連盟春季講習会(主催北海道合気道連盟)は、6月13、14日の両日に渡り、千歳市総合武道館にて開催され、本部道場より、私(難波)が派遣された。参加者は、連盟加盟の18

の上位・下座を意識し、互いの礼でも互いの尊敬や感謝の気持ちを表すこと、武器を持った場合でもそれにふさわしい礼をすることを指導されました。

また合気道の稽古は道場の中だけでなく、日常の社会生活に於いて活かされたものでなければならぬ、また単なる格闘技ではなく、精神を磨き、人間性の向上と人格の完成を目指すものでなければいけないということも改めてご教示戴きました。

技の面では、初日は体術で、体の変向から始まり、手首の柔軟性を養う運動、持続的な集中力を養う呼吸法、一教・四教の抑え技や種々の投げ技を、座り技、立ち技、半身半立ちなど様々な角度からまた体系的にご指導戴きました。2日目は、五教と武器技をご指導戴き、体術を行う際も常に武器を意識するようご教示戴きました。

取り・受けとも常に隙を作らないこと、そのためには目付や手のブラブラに気をつける、1対1ではなく、常に1対多数を意識する等、武道としての合気道の厳しさもご指導戴きました。

参加者全員、ご指導戴いたことをしっかりと胸に刻み、これからの稽古に励むものと確信しております。(香川県合気道連盟 西原 浩)

群馬県連が主催の少年錬成大会に90名

第11回群馬県合気道連盟主催の少年錬成大会は、6月14日午前10時より群馬県スポーツセンター大道場で開催されました。県内の14支部道場から90名を越える子供たちは開会宣言の後、元気よく入場行進を行いました。

「誓いの言葉」を山徳道場の寺田莉奈さんが力強く読み上げた後、群馬県合気道連盟の荒井俊幸会長による主催者挨拶が行われました。その後、群馬県議会議員の橋爪洋介氏、前橋市議員の橋爪中島とひろ氏による来賓の挨拶では子供たちへのエールの言葉が込められていました。

本番前、子供たちの顔も幾分緊張気味でしたが、14支部の子供たちは日頃の稽古のことをテーマに稽古指導を行った。

稽古後の懇親会では、参加者は、数々の賞を受けた千歳の地ビールと滋味に富む料理を心ゆくまで堪能し、相互の親睦を深めることが出来た。

私にとって初めての北海道合気道連盟主催の講習会には、参加者の合気道に真摯に向き合う姿勢、その情熱と理解の深さを感じることが出来た。(本部道場指導 部師範 難波弘之)

山 櫻井師範招いて 富 講習会と演武会

富山合気会は、6月7日、県営富山武道館において櫻井寛幸本部道場指導部師範を招いて、講習会と演武大会を開催した。午前の講習会には会員と県内外から40名が参加、爽やかな風の中、気持よく稽古に励み、2時間がいっせいに短く感じられた。

櫻井師範は「取り」は構えと姿勢を正しく、捌く際には顔の向きに気をつけ、やや重心を下ろし、腰を中心にして素早く、巻き付くように捌くこと、「受け」は真剣にしっかりと打つことや掴むことでお互いに相手とのつながりを通して技を磨くようにアドバイスされた。午後からは、第23回合気道演武大会に臨み、一般公開によって日頃の稽古成果を披露すると共に、愛知県、岐阜県、石川県からの賛助演武、櫻井師範の模範演武を披露して頂いた。なお、県営富山武道館での活動が35年を経過した事を記念して、大会終了後は懇親会を開催した。(富山合気会 島恵司)

暑中お見舞い申し上げます

全日本合気道連盟

理事長 尾崎 响
 常任理事 林 典夫
 同 宮本 鶴蔵
 同 小林 幸光
 他一同

国際合気道連盟

理事長 ピーター・ゴールズベリ
 事務総長 井沢 敬

東京都合気道連盟

全国学生合気道連盟

北海道合気道連盟

会長 藤井 幸一
 理事長 南雲 州治
 (他会員一同)

オホーツク中湧別道場

道場長 尾崎 响 指導部長 松田茂満
 道長代行 久保田雅士 事務局長 本田淑子
 〒091-0326
 北海道紋別郡湧別町中湧別北町三三
 電話・FAX 0156-611-1448

東北合気道連盟

会長 日高 浩(岩手県)
 理事長 船越光雄(山形県)
 副会長 追分拓哉(福島県)
 同 横山清一(秋田県)
 同 白川勝敏(宮城県)
 同 田辺孝美(青森県)

岩手県合気道連盟 大槌道場

道場長 澤 智也
 副道場長 里 満也
 道場一同

宮城県合気道連盟

会長 白川 勝敏
 理事長 角田 稔
 (事務局) 仙台市泉区大沢二六一九 渡邊方
 senshin@s3.dion.ne.jp

群馬合気会

会長 荒井 俊幸
 〒370-0864
 群馬県高崎市石原町五三〇三九
 センチュリイ121-1111
 電話 090-9306-1168 049-4694

群馬県合気道連盟

前橋市民合気会

会員一同

茨城県合気道連盟

会長 藤枝 一弘
 理事長 飯島悦男 常任理事 瀬尾 寿
 常任理事 稲垣繁實 同 桑原 隆
 同 渡引好文 理事・監事一同

取手合気会

取手市体育協会合気道部
 取手市合気道スポーツ少年団
 取手市レディース合気道クラブ

水戸合気会

水戸市合気道スポーツ少年団
 倉・団長 飯島 悦男
 会長・団員一同

合気道修練道場自然館

館長 吾妻 正義
 〒350-1335
 埼玉県狭山市根岸一七七十六
 電話 049-533-9674

蓮田合気会

入間市合気道連盟

会長 関戸 章弘
 入間幸武館道場
 館長 中島 正吉

草加合気道研究会

会長 中道 一也
 副会長 宮澤 義治
<http://soukaiiken.webnode.jp/>

合気道大宮道場

会員一同

大宮合気道倶楽部

会員一同

浦和合気会

会長 林 昭男

A&P合気道石垣道場

道場長 石垣 晴夫
 〒300-0611
 さいたま市浦和区常盤九八二五 松本ビル3階
 電話・FAX 048-183-1065 048-183-1065

千葉県合気道連盟

会長 高橋 嗣慶
 理事長 吉川 滋

合気道花見川道場

道場長 等々力 敏夫
 〒261-0046
 千葉県花見川区花見川六一〇二〇一
 電話 043-158-1572 043-158-1572

合気道 君津道場

野田合気会

会長 山中 紀光
 会員一同

柏合気会

会員一同

北総合気会

代表 山田 博信
 会員一同

中央区合気会

会長 糸田 寛人

葛飾合気会

会長 田中 満夫
 〒133-0051
 江戸川区北小岩四二二一〇
 電話 03-376-2103 03-376-2103

合気道明心会

会員一同

中野区合気道連盟 中野区合気道会

会長 松本 肇

祖師谷合気会

会長 中村 文子
 〒157-0053
 東京都世田谷区祖師谷六二六二一
 電話 03-341-5124 03-341-5124
 tsumi3aki.23@isofbank.com

大田区合気道会

会長 尾崎 响
 〒143-0024
 東京都大田区中央五十一八八一
 電話 03-375-1258

荒川合気会

会長 酒井 光雄

上海(中国)巡回指導

私(難波弘之)は、6月5日から9日まで中華人民共和国の上海へ派遣された。5日13時に、上海虹橋空港に到着。陳徳明氏(上海合気会)、野倉昌子女士(上海国際合気道愛好会)、ウルリッヒ・M氏(上海西郊合気道会)らの出迎えを受けた。



上海合気会楊浦道場では、5日午後昇段審査がおこなわれ、参段3名、式段2名、初段4名が合格した。8日午後の稽古では、約20名が参加した。楊浦道場は、改築されて、敷地内の新しい建物に稽古場所が変わったが、昨年よりも狭くなり、両日共に、上海合気会会員のみ参加の講習会であった。

また、上海国際合気道愛好会SCIS道場では、6日午前と7日午前に講習会、上海国際合気道愛好会、上海西郊合気道会、杭州合気会、申道場、UNC

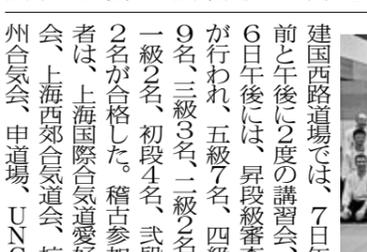


建西西路道場では、7日午前と午後2度の講習会、6日午後には、昇段審査が行われ、五級7名、四級9名、三級3名、二級2名、一級2名、初段4名、式段2名が合格した。稽古参加者は、上海国際合気道愛好会、上海西郊合気道会、杭州合気会、申道場、UNC

である上海合気会と上海国際合気道愛好会の存在が不可欠であると感した。私にとって昨年以來四度目の上海でしたが、流動的な状況のなか、合気道の発展を感じることが出来てとても充実した5日間となった。陳先生、野倉先生、ウルリッヒ・M氏には、昨年に引き続きとてもお世話になり、快適な環境の元で稽古指導を行うことが出来た。両先生とは来年の再会を希望し合い、帰国の途についた。(本部道場指導部 師範 難波弘之)

露アナハ 夏季講習会

私(栗林)は6月17日から23日まで、中央館道場代表アレクサンドル・カチヤン六段、恒例の夏季講習会の為、ロシア南部のアナハ市を訪問した。1992年以來のロシア訪問であり、今年に限っては1月に厳寒のサマラ市を訪問したのに続き、2度目のロシアでの講習会となった。アナ



ハ市は冬季オリンピックが開催されたソチ市に隣接

を包み、子供たちである会員たちが一生懸命に稽古を積み重ねてきた。稽古は18日(木)から21日(日)まで行われ、1日6時間、その6時間を私、柴田師範、Peter Bernath

師範で2時間ずつ受け持った。参加者はとても熱心に稽古をし、全部の稽古に参加する者たちも多く、合気道に対する情熱を強く感じることができた。また、参加者は雲煙会会員に限って

いたが、100名の参加があり、米国内に限らずイスラエル、スペイン、カナダから来訪している者もいた。これは柴田師範の厳し

くも情熱と優しさあふれる指導から来た人望のなせる業ではないだろうか。土曜日の夜には、パーティが行われた。皆で持ち寄り、翌日に夏合宿最終日を控えた寂しさを感じながら、会員同士が大いに語り、楽しんでる様子を見え、充実感を得ることができた。今後も柴田師範を中心に

ままとり、一つの家族として、その家族の輪を広げていくことを願っている。そして、いつの日かまた、その家族に会えることを楽しみにしている。(植芝充央 本部道場長)

くも情熱と優しさあふれる指導から来た人望のなせる業ではないだろうか。土曜日の夜には、パーティが行われた。皆で持ち寄り、翌日に夏合宿最終日を控えた寂しさを感じながら、会員同士が大いに語り、楽しんでる様子を見え、充実感を得ることができた。今後も柴田師範を中心に

ままとり、一つの家族として、その家族の輪を広げていくことを願っている。そして、いつの日かまた、その家族に会えることを楽しみにしている。(植芝充央 本部道場長)

米パークレーで夏季講習会



植芝本部道場長の入身投げ

私(植芝)は6月17日から24日まで、米園サンフランシスコのパークレーにて、雲煙会パークレー合気会主

催の夏合宿を訪問。雲煙会は平成元年に本部道場から渡米した柴田一郎師範が代表を務める会である。

サンフランシスコの地名から想像すると暑いイメージがあるが、パークレーは朝晩冷え、昼間は25度くらい、温気がなく過ごしやすい気候で、稽古を行うには最適な環境であった。まさに合宿日和といったところだろうか。

道場は日本の古き時代の大家族にたとえたらよいだろうか。柴田師範を大黒柱の父、そして家長とし、またMarianne夫人が母となり、その優しさで道場全体

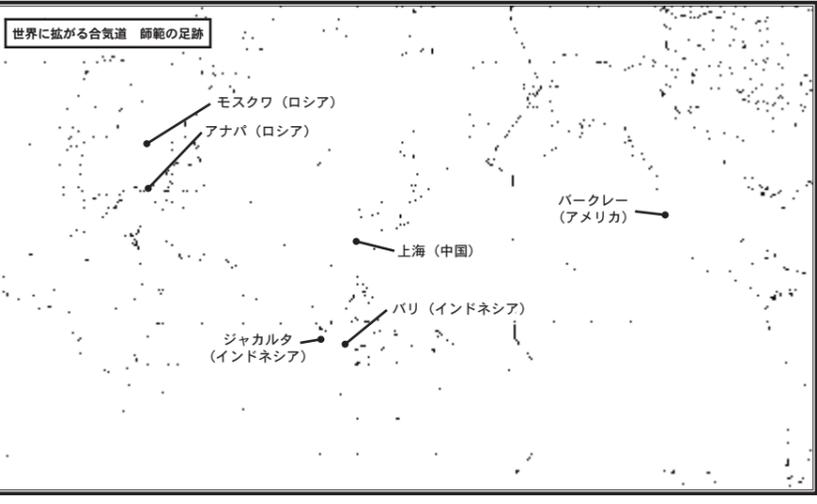
を包み、子供たちである会員たちが一生懸命に稽古を積み重ねてきた。稽古は18日(木)から21日(日)まで行われ、1日6時間、その6時間を私、柴田師範、Peter Bernath

師範で2時間ずつ受け持った。参加者はとても熱心に稽古をし、全部の稽古に参加する者たちも多く、合気道に対する情熱を強く感じることができた。また、参加者は雲煙会会員に限って

いたが、100名の参加があり、米国内に限らずイスラエル、スペイン、カナダから来訪している者もいた。これは柴田師範の厳し

くも情熱と優しさあふれる指導から来た人望のなせる業ではないだろうか。土曜日の夜には、パーティが行われた。皆で持ち寄り、翌日に夏合宿最終日を控えた寂しさを感じながら、会員同士が大いに語り、楽しんでる様子を見え、充実感を得ることができた。今後も柴田師範を中心に

ままとり、一つの家族として、その家族の輪を広げていくことを願っている。そして、いつの日かまた、その家族に会えることを楽しみにしている。(植芝充央 本部道場長)



四段が誕生した。指導者のカチヤン氏がモスクワ大学やモスクワ体育大学の教員であり、学生会員が多い中央館にとつて、この時期は学生の試験期間にあたり、例年よりも参加者が少なかつた感否めな

が、例年より少人数の分だけ、稽古時間以外にも互いに研究しあう姿が印象的であった。国土の広さもあるが、ロシアには頻りに本部道場の指導者をはじめ日本の指導者が赴いており、ロシア国内における合気道熱は、ますます盛んになっていると言

えるが、普及にだけ意識が奪われ、質の低下をする事の無いように、我々もより一層真摯に稽古に当たる必要を感じた。(本部指導部 師範 栗林孝典)

私(伊藤)は、6月12日から16日まで、インスティテュート合気道インドネシア(IAI)の招へいを受け、インドネシア、ジャカルタ市にて講習を行った。15年ぶりのスカルンハッタ空港で、IAIセクレタリーのテディ氏の出迎えを受けた。午後4時に到着し市内へ移動して夕食の手配だが、空港から市内まではほぼ全渋滞している。ジャカルタ市は慢性的な渋滞に悩まされているが、今回は会員の計らいで警官の先導があり、1時間ほどで夕食会場までたどり着き、



桂田師範による指導

講習は、子供の稽古を1時間半、2時間の大人の稽古を3回という内容で、その他に四段1名、参段1名

の審査が行われ合格した。同団体の指導は3度目で

あるが、年ごとに実力が上がっているのを感じ、やりがいを感じる。ユースフェデレーション以外の連盟の会員の参加も多く、稽古中の提案に対し、理解と反応がとて早い為、私にとつても非常に面白い稽古になった。年々、会うごとに気持ちも通じあっており、暖かい気持ちで帰路についた。(本部道場指導部師範 桂田英路)

インドネシア講習会

露モスクワ 夏季講習会

私(桂田)は、ロシア(モスクワ)で6月5日から8日までロシア合気道連盟率下の、ユース合気道フェデレーション(タニール・ソブレフ代表)の主催する講習会を指導を行った。

参加して総勢80名余りの活気あふれるセミナーが、毎日5〜6時間行われ、共にバリエーションを体験しました。初訪問が1997年、今年で18年目になります。6月4日、空港ではバリエーション代表のフレイ、侍道場会長タルマ氏、他多数が歓迎してくれました。6月5日から2日間は有段者のみ、3日目は白帯も

得のいくまで繰り返し稽古しました。審査は初段を5名が受けました。講習中の通訳は、最初の2日間はバリエーションの菅野四段、3日目は片岡領事にしていただきました。翌週には領事館を訪問し、野村総領事にバリエーションの経緯をお伝えしました。(新宿合気会 周参見 紳次郎)

パリで活気あふれるセミナー

私(周参見)は本部道場指導部関昭二師範、本部道場1名、新宿合気会4名と共にパリを訪問しました。

6月4日、空港ではバリエーション代表のフレイ、侍道場会長タルマ氏、他多数が歓迎してくれました。6月5日から2日間は有段者のみ、3日目は白帯も

得のいくまで繰り返し稽古しました。審査は初段を5名が受けました。講習中の通訳は、最初の2日間はバリエーションの菅野四段、3日目は片岡領事にしていただきました。翌週には領事館を訪問し、野村総領事にバリエーションの経緯をお伝えしました。(新宿合気会 周参見 紳次郎)

得のいくまで繰り返し稽古しました。審査は初段を5名が受けました。講習中の通訳は、最初の2日間はバリエーションの菅野四段、3日目は片岡領事にしていただきました。翌週には領事館を訪問し、野村総領事にバリエーションの経緯をお伝えしました。(新宿合気会 周参見 紳次郎)

得のいくまで繰り返し稽古しました。審査は初段を5名が受けました。講習中の通訳は、最初の2日間はバリエーションの菅野四段、3日目は片岡領事にしていただきました。翌週には領事館を訪問し、野村総領事にバリエーションの経緯をお伝えしました。(新宿合気会 周参見 紳次郎)

合気道探求50号 7月20日発売

- 道主対談 ジャックロード・プロイド
- 植芝本部道場長就任インタビュー
- ふるさと案内 東京
- 第53回全日本合気道演武大会
- 技法講座 座技正面打ち第四教(表・裏)
- 合気道人生 若尾重廣
- 日本武道の中の合気道 加来耕三
- 「教える」を考える 貝塚茂樹

各道場の昇段者

27年 5 月 15 日～
6 月 14 日
(公財)合気会登録

【四段】

◆川越道場—斎藤恭代◆合気道敷島塾—津司崇、土井一代、北島健司◆豊川合気会伊東道場—大草宏◆合気道国際平和文化交流倶楽部—G.Sergey◆熊野塾—D.Denis◆合気道悠風館—河辺政美、金山貴之◆合気道土道館—小山勝治◆央名会子平塾蟹江道場—R.Bittencourt◆志木合気会—清水剛◆小林道場—黄信榮、張慶偉、王智立、謝孔政◆防衛省合気道連合会—玉城和美、玉城盛勝◆美陵会—L.Heinrichs◆合気道心会—濱中久美子、伊藤広志、今西尚代◆かすみがうら合気会—杉測孝一、須永和義◆合気道楽々健身倶楽部—清末敏生◆SWITZERLAND—V.Schiavone、J.Ehrensperger◆BRAZIL—N.Miranda、J.Gil、M.Marques◆AUSTRIA—R.Steiner、M.Poberer、M.Stadlbauer、M.Varga、P.Sagat◆SWEDEN—G.Winnerstam◆SPAIN—P.Duran◆ARGENTINA—M.Lanfranqui、J.Damiani、W.Costa◆RUSSIA—A.Alexandrov、M.Koshenkov◆BELGIUM—E.Feller◆TURKEY—K.Demir、O.Dokuzluoglu◆SERBIA—R.Molnar◆HUNGARY—F.Szibik◆U.S.A.—真野満徳、P.Gorman、J.Knipping、J.Gold、S.Chen、G.Howard◆LIECHTENSTEIN—T.Renggli◆GREECE—A.Manta、P.Louis◆ITALY—E.Savalli◆UKRAINE—Y.Pavlenko◆FRANCE—P.Grandet◆POLAND—S.Wysoczarski、J.Bartos、R.Tlusiak、A.Wasieczko、M.Was◆SLOVENIA—L.Barthaux

【参段】

◆新川塾—村島幸治、丹羽雄一◆小牧合気会—内竹英文◆高伝館—北川恵治◆奥飛騨心会—佐々木拓磨◆荻窪合気道同好会—R.Gallach◆熊野塾—G.Nicolas、H.Benoit、G.Barbarini◆小林道場—謝禮興、陳嘉麟、B.Petrovic、I.Vuzharov◆田辺道場—野口壯一◆合気道敷島塾—福本浩之◆楠見西合気道クラブ—深野紗恵子◆札幌合気道会—T.Hoyt◆名古屋道場—古田浩俊、水谷敬◆三菱養和会武道スクール合気道塾—丸山和昭◆合気道心会—高木一郎、西田美千緒◆武産合気いよ神武館—深見佳彦、岩崎正幸◆合気道さざ波—井ノ尾篤志◆合気道志正館—本部稔◆合気道楽々健身倶楽部—田中聡司◆SERBIA—K.Obradovic◆TURKEY—E.Yolcuer、R.Vatansever、B.Sentuna、M.Nemli◆SWITZERLAND—C.Raschein、D.Bauer、P.Weber◆BRAZIL—J.Queiroz Jr.、F.Santos◆AUSTRIA—W.Geiger、M.Ly、M.Wunder◆BOLIVIA—田島世裕、V.Aranibar◆BULGARIA—P.Tomov、S.Veselkoff◆ESTONIA—A.Vaar◆FRANCE—P.Gerard、P.Chambige、S.Gos、K.Hudan、Y.Pignot、P.Grandet◆FINLAND—O.Kangas、R.Maula、I.Huhtiniemi◆HUNGARY—A.Semegi◆LIECHTENSTEIN—U.Wettstein、M.Boehler◆PARAGUAY—E.Anzoategui◆U.K.—S.Gibb、M.Davies、M.Forster、J.Williams◆ARGENTINA—J.Sanchez、C.Cardozo、R.Arganaraz、D.Re◆GREECE—K.Aggelopoulos、A.Skembris◆U.S.A.—片桐裕司、R.Reynosa、J.Adachi、J.Peterson、J.Croser、J.Lothes II、G.Pace、S.Flores、D.Bunnell、D.Niemetz、W.Watkins、C.Holland、J.Young◆ITALY—T.Acqua、P.Emilio、F.Leo、T.Boussaksous、S.Kuznetsov、E.Savalli、R.Rickeboer、M.Close、P.Urios◆BELARUS—V.Likman、A.Voloskovich、T.Sak、P.Podzorov◆MACEDONIA—D.Cingarski◆UKRAINE—V.Funtikov、V.Cherednjuk、M.Martsynovskiy、I.Pakhnuk、V.Los、E.Silantsev、Y.Burher、M.Korozey◆SPAIN—A.Badassian◆RUSSIA—A.Pushko、A.Gromov、A.Iakovleva、V.Byzeev、D.Zavitkov、I.Chesnykh、E.Kraeva◆GERMANY—H.Heine◆BELGIUM—F.Leotte、R.Khaldi◆POLAND—S.Wiktor、Z.Orlowski、J.Krasowski、M.Was、P.Smak◆ISRAEL—S.Solomon◆SLOVENIA—L.Barthaux◆中国—戴頌豪

【二段】

◆よみうりカルチャー—錦糸町—戸沼康平◆合気道練馬総合体育館道場—牧野光正

◆志木合気会—中村勝晶◆世田谷大原合気会—T.Liam◆瀧田塾—大伴正人◆オホーツク中湧別道場—本田淑子◆西馬込合気道場—橋本ドミトリ◆合気道国際平和文化交流倶楽部—M.Yuri、B.Vadim、S.Evgeniy◆相生会優志会—埴勝美、酒井義臣◆曙合気道クラブ—尾口寿章◆奥飛騨心会—花木伸浩◆熊野塾—B.Marc、M.Germano、S.David、P.Nicolai、S.Andrey、F.Albertini、D.Grasso◆央名会子平塾蟹江道場—石本明広◆央名会春日井武道館—可児将吾◆小林道場—寺島岳、周彦博、李宜聖、陳信良、林倉本、J.Jovanovic、M.Antic、M.Bosanac、J.Braunovic、Z.Braunovic、M.Popara、V.Georgiev、E.Mailer、R.Movradinov、R.Arnaudov、V.Korzh◆祥平塾—李旭形◆上野道場—三ツ橋賢◆合気道神戸—明子Bateman、P.Purcell◆杉並合気会—R.Lauer、N.Vayhinger、A.Quezada◆清進塾—高島広海◆千葉合気道館—中村健一◆大田区合気道会—鈴木千晴、東龍二◆京都近江合気会—小林啓介◆南海電鉄合気道部—新谷浩平◆武産館—櫻山和樹、山縣雅仁◆麻布道場—大宅尚美◆名古屋道場—道庭のぞみ◆小倉道場—能木智矢◆美陵会—D.Ducksworth k、J.Alvarez、F.Alvarez、O.Alonso◆大森第三中学校—山本晋司◆神岩塾—嶋内洋子、加藤弥生◆合気道心会—林泰生、小田村航◆合気道大都同好会—河原正人、湯舟道彦◆合気道楽々健身倶楽部—宮崎哲郎◆酪農学園大学—波田晃◆日本獣医生命科学大学合気道同好会—菅野萌黄◆高知大学医学部—飯塚柚衣◆THAILAND—J.Cheroenthawornpanich、W.Chaiyawan◆SERBIA—M.Zakula、A.Jankovic、A.Vlajnic◆SWITZERLAND—U.Fuchs、P.Naf、T.Inauen、M.Walliser、C.Knaup、G.Fasel◆BRAZIL—S.Aguiar、E.Carrico、I.Montenegro、A.Moraes、W.Santos、E.Rosa◆DENMARK—T.Hansen、J.Ravnskjaer、S.Enkeshafi◆AUSTRIA—ハネス・ピルシュoller、R.Horak、M.Muehlegger、R.Schuessler、R.Schneider、S.Landl、U.Rauch、I.Eisterer◆BOLIVIA—M.Camacho◆SWEDEN—A.Engstrom、K.Gullberg◆BULGARIA—N.Kolev、E.Enchev、G.Trenea、M.Dimitrov◆ESTONIA—A.Voog◆FINLAND—V.Kurki、T.Glasgow、P.Myllarinen、S.Joutsela◆SPAIN—M.Arboleda◆ARGENTINA—J.Coza、J.Bittar、M.Hecheleitner、L.Vazquez、F.Amalfin、P.Hinojosa、L.Espinosa、J.Eterovic、M.Calderon、P.Martinez◆HUNGARY—I.Bozsoki◆LITHUANIA—Y.Lofovskii◆GERMANY—M.Packebusch、T.Alcamo◆U.K.—M.McLoughlin、S.O'Connor◆LIECHTENSTEIN—Y.Brunner、P.Flueckiger、N.Jaeger、N.Vilayphiou◆PARAGUAY—G.Cuevas、A.Ovelar◆U.S.A.—T.Ventimiglia、A.Gaweda、L.Hiles、J.Nash、R.Prifti、C.Blanc、B.Duff、J.Zielinski、M.Ammari、S.Mazzilli◆ITALY—S.Bravin、A.Borisov、E.Savalli、R.Rickeboer、M.Close、P.Urios◆BELARUS—D.Bandaryk、V.Vychikov、V.Spesiutsau、V.Balotsin、I.Bolotnikov◆NETHERLANDS—J.Moscardo、H.Koefoed◆RUSSIA—V.Andreyashin、T.Korneychuk、I.Shustov、T.Strakovski、S.Zenkin、I.Krasnyanskiy、N.Sharapov、P.Kondratov、D.Klishin、Y.Balashov、A.Rudnik、O.Shutov、O.Permiyakov、D.Chagin◆TURKEY—A.Gulen、M.Kilic、C.Tezean◆KAZAKHSTAN—P.Semibratov◆UKRAINE—A.Popov、O.Matukhno、A.Garaiev、D.Maksimenko、V.Ratner、G.Motorenko、M.Kunatovskiy、D.Hanushchak、A.Boyarin、E.Gorban、A.Meyris、S.Sarychev◆FRANCE—P.Grandet◆BELGIUM—M.Mannoy、F.Rousseaux、C.Devos、L.Slachimuylders、I.Ringoot、B.Hak、N.Langenhof、B.Vandercammen、B.Fockaert、K.Burke、M.Kasenda◆POLAND—M.Cichorek、T.Kozlowski、S.Babushko、S.Berdashkevich、G.Tuzina、B.Moskalew、J.Czarkowski、G.Olszewski、A.Klepuzewski、P.Dziewit、M.Wisniewski、R.Bednarski、P.Linca、J.

Kruszkowski、T.Kopiejc、M.Prusak◆SLOVENIA—L.Barthaux、M.Gombar◆MALAYSIA—笹森絵子◆中国—D.Yau
【初段】
◆新川塾—大杉彬生◆高知合気道グループ—関能美◆茨城県合気道連盟—早乙女金司、町田幸子◆奥飛騨心会—中嶋詩織◆千住合気会—星野元春◆東急セミナー—B.E青葉台—武重李伊菜◆合気道国際平和文化交流倶楽部—M.Grigoriy、M.Vladimir、K.Maxim◆Y.I.S.YOKOHAMAINTERNATIONALSCHOOL—ダニエル山本◆相生会優志会—虎谷大地◆熊野塾—L.Valeriy、K.Marsel、Y.Alexandr、F.Viktor、A.Madi、B.Vladimir、L.Thomas、B.Eric、A.Yves、D.Daniel、R.Laurent、K.Alekseevich、M.Ramon、J.Gobbo、P.Rebetez、L.Dizon、C.Magand、J.Migotto、G.Tedone◆皇道館—小森田天斗◆合心館谷本会—A.Barutto、E.Stecchi、S.Guzzon◆新所沢合気道同好会—飯塚邦夫◆合気道武友会—秋元芳太、八木幸佑、大塚源太◆合気道土道館—松原大虎、畝本浅雄、中橋啓、間瀬憲一、秋山佳希、水野公平、相川拓海◆央名会子平塾蟹江道場—佐藤健斗、名古屋義明◆志木合気会—関英理子◆小松支部心館—竹内智恵◆小林道場—朝内憲雄、石幡吉久、倪根祥、潘柏舟、王國維、蔡承恩、吳亭葦、鮑永浩、陳昭安、鄧源昌、吳偉清、王碩彦、葉修志、王哲璋、黎竟恒、D.Andrei、N.Anastasijevic、V.Velovic、M.Ulemek、M.Rakovic、S.Rakovic、A.Movradinova、N.Movradinov、E.Yordanova、M.Tsvetkov、R.Ivanova、D.Ivanov、G.Petrov、D.Ali、D.Kabelkov、V.Shtelmashenko、O.Sekriyan、E.Bardyishev◆尚武館—中尾英隆、白山智佳子◆昭島合気道会—北野純一◆松戸市役所—北岡明人◆祥平塾—剣持英男、候慶祥、王雅琦、聶其偉、蔡振宇◆さぬき合気道教室—山下修平◆進藤道場—坂口柗太◆杉並合気会—D.Paz、R.Squeri◆清進塾—山本真内◆徳志館—高橋有美、日浦宏◆弘前道場—森岡欽吾◆千葉合気道館—河野貴志◆川越道場—奥山佳音◆多田塾—山崎智美◆竹豊館—刀祢有希子◆田辺道場—佐武皓稀◆合気道敷島塾—マーンズ・トレバー◆楠見西合気道クラブ—楠見花那、矢渡望、坂上奈都◆武産館—松本崇良◆豊川合気会伊東道場—村松諒一◆防衛省合気道連合会—佐田忠広◆室蘭道場—サントス若生ギリアルモ◆麻布道場—篠田陽子◆立川市合気道会—福島豊◆倉古道場—横山満男◆松江道場—田辺大、藤原瑞夏◆合気道松本道場飯田支部—山岡帆花◆合気道清水塾—N.Duong◆B.S.T.BRITISHSCHOOLINTO-KYO—J.Zanghi◆悠歩塾—田中法斉◆瑞浪道場—水野統之、青木力◆泉心塾—山田孝彦◆かすみがうら合気会—片山優子◆浦上道場—関矢直江、藤原隆二、M.Kasimow◆和洋国府台女子高等学校—薄葉咲季、老松愛実、大谷百加、毛利朱里◆四天王寺高等学校—朝比奈実史、神華野子、岩岡夏未、古川和積、渡辺麻耶、樋川紗也子、土井志保里、柴田早織、岡垣志歩、安田百花、糸林瑞貴、橋口孟奏、阪口あずさ、森井悠◆兵庫県立東播磨高等学校—阪田侑亮、川田恭弘、岸本賜、馬場小百合◆大阪府立池田高等学校—秋田裕久、朝比奈みりの、石田陸仁、岩木優吾、江見祐香、押川紗夢、川畑翼、阿部里咲、河村綾音、佐々木玲奈、辻大海、永田大祐、西村彩、堀千遥、松井美奈、的場太誠、三村紘生、森田健脩◆東筑紫学園中等学校—池田瞳子、石井秀海◆飛龍高等学校—伊藤竜平、鈴木駿介、川島孝明、中村元基◆愛知学院大学—島崎達也◆学習院大学—長澤美寿々、入江達也、廣川譲、飯野達哉、石渡遥、北野寛子、田中あみ、大城さゆり、田村洋人◆中京大学—七宮大、小島涼、日比野寛人◆鹿児島大学医学部歯学部合気道道場—中原淳志、中岡大輝◆IRAN—S.Khalad、M.Ghanbarzadeh、S.Aghchai、S.Taskindoost、D.Saykal◆THAILAND—P.Chaisitsanganuan、S.Nikom◆SERBIA—M.Vuletic、N.Nikolic、S.Ilic、B.Baljovic、A.Gligorijevic、M.Markovic、M.Soknic◆SWITZERLAND—H.Buchler、P.Dietz、C.Harper、G.Nitsch、R.Parisi、M.Sanchez、A.Wagner、E.Martelli、B.Notz、M.Muller、H.Willner、M.Cattaneo、M.Mutti、M.Secci、F.Gfeller、A.Hansen◆GERMANY—T.Taplik、C.Sedlin、T.Redlin、V.Micheilis◆BRAZIL—E.

Oliveira、S.Padua、L.Lapertosa、C.Silva Jr.、C.Moreira、M.Brito◆DENMARK—E.Tassee◆AUSTRIA—T.Matuschek、M.Frohle、B.Mitterwallner、G.Gstettenbauer、K.Ling、K.Mensik、K.Ziembicki◆BOLIVIA—J.Saavedra◆SWEDEN—T.Jansson、P.Nagy◆BULGARIA—E.Sadikovikj、I.Hadjistojanov、S.Bichikliski、S.Stanchev、Z.Dimitrova、S.Lazarovski、L.Nolden、R.Minchev◆MYANMAR—M.Kawata◆EGYPT—S.Forgani、S.Boashi、Y.Omar、A.Moniem、B.Fateh、H.Essam、A.Faghi◆ESTONIA—L.Vettik、D.Rutko、A.Hunt◆FINLAND—L.Grishina、J.Huhtala、I.Husso、T.Kujamaki、J.Leslie、J.Niskanen、K.Tolonen、A.Velemzon、K.Jarvio◆ARGENTINA—V.Huder、D.Fernandez、B.Phuminoradeth、M.Olivier、C.Aroca、R.Escola、R.Catalini、M.Pereyra、M.Ruiz、D.Baca、M.Zaruelo、A.Garcia、D.Gomez、A.Gomez、A.Suarez、H.Boschi、E.Bellio、M.Flores、O.Maldonado、C.Portuese、J.Ferrari、H.Lanus、E.Sinanis、G.Pernice、R.Roldan、J.Montero、L.Asensio、J.Vergara、M.Otano、R.Denami、A.Pineyrua、A.Depino、F.Resico、M.Takemoto◆HUNGARY—J.Faludi◆U.S.A.—別府栄大、G.Johnson、B.Ours、F.Randall、T.Whalen、D.Anagnostopoulos、I.Kouroutidis、I.Manica、U.Tashpulatov、P.Dake、M.Richardson、J.Gadzick、C.Cullen、S.Haedicke、A.Ward◆LIECHTENSTEIN—N.Vilayphiou、J.Kifferle、E.Keutner、S.Renn、G.Ottiger、C.Gherghina◆U.K.—G.Cartwright、C.Finch◆AUSTRALIA—Z.Ahmad、S.Ahmad、R.Miller◆GREECE—A.Papoutsakis◆COSTARICA—M.Mcdermott、R.Ball、D.Hamdy、N.Mckay、G.Souter◆ITALY—E.Savalli、R.Rickeboer、M.Close、P.Urios、M.Benkaddour、S.Sebbagh、N.Deheunynck、J.Menard、D.Monseur、T.Majcenovic、R.Railic、M.Baranov、M.Volkov、M.Andreev、K.Ivanov、S.Suvorov、L.Ciarravano、A.Graziano、V.Morcaldi、M.Stefanutti、P.Tarsi、P.Tripaldi◆RUSSIA—A.Bezmenova、E.Cherepita、K.Shelkov、A.Khabibullin、N.Petrov、V.Garus、A.Evtushenko、S.Samosyuk、A.Moldagali、V.Surovshkin、G.Dzhoglidze、V.Samoilov、V.Khichev、M.Dulepenskiikh、D.Golubev、D.Muzhev、V.Smolentsev、L.Carol、S.Kuryanov、Y.Lopatin、S.Pushkarev、M.Kozlova、S.Grigoryev、A.Kozlov、T.Kukhtina、A.Seliansky、V.Shakina、L.Sumak、V.Averianov、A.Kuznetsov、O.Poroshchay◆BELARUS—N.Voitseh、M.Schennikau、D.Vybornov、I.Punia、S.Kuznetsov、A.Sharykau、V.Taranov、S.Yakovlev、S.Pimanau、V.Motuz、D.Kelin、O.Dynov、A.Popov、S.Aliaksandrau、M.Aliaksandrava、T.Kouhan◆NETHERLANDS—S.Briones、M.Giger、A.Weijers◆LITHUANIA—P.Kuzmin、A.Merkulova◆MACEDONIA—G.Mitev、K.Mitev、V.Stojanovski、A.Petkovska、E.Abrosenkov◆UKRAINE—N.Gordicieva、M.Baydyuk、B.Rafalskiy、Y.Prykhodko、Y.Romanyuta、O.Orieshnikov、B.Seheda、K.Bojko、R.Bolgov、E.Gorban、O.Grigorjev、Y.Startsev、O.Stegura◆TURKEY—M.Cetin、T.Gursoy、T.Ilhan、U.Atamturk、B.Oz、M.Etil、Y.Ozdemir、M.Akdere、F.Batir、A.Ilhan、M.Saruhan、C.Caglayan、A.Kankoc、N.Gokceoglu、I.Goren、A.Yoruk、M.Unlu、E.Kizilkaya、E.Korkmaz、E.Acar、Y.Tekin、E.Demir、M.Yuksekevrez、O.Demir、E.Senkelebeke、A.Deniz、B.Daymaz、O.Cayir、Y.Talay、M.Dinc、M.Nazli、G.Yukse◆KAZAKHSTAN—Y.Kovalyov、B.Tursynbayev◆BELGIUM—G.Bruin、P.Bruin、T.Peeters、M.Martinho、A.Mewissen、L.Honorez、C.Dony、G.Leman、S.Delcourt、J.Lechien◆POLAND—B.Pankiewicz、M.Rutkowski、T.Galicki、D.Dabrowski、W.Cybul、R.Kotuszewski、M.Adam、S.Andreiev、D.Cudzich、J.Dudzinski、T.Kaczmarek、R.Kondra、A.Kubiak、P.Nurzynski、I.Piliarska、M.Sekula、P.Skrobek、P.Szafraniec、P.Zawadzki、A.Szewczyk、A.Mielczarek、L.Gerek、P.Palczewski、M.Lempkowski、T.Mirosz◆FRANCE—S.Kohler、M.Sotto、A.Lopes、F.Yenk、I.Said、Y.Zekhnine、J.Lelouch、J.Henry、J.Morra◆SLOVENIA—R.Leskovjansky、M.Matula◆中国—尾園智彦、王致翔、鄧皓然、王珂玮、王曉崧、王海生、张帅